

平成十八年度伊予市一般会計補正予算(第一号)

### 三秋の湧出水試験委託料について

#### 問

この調査委託料は、三秋地区温泉水の田畑への影響に関する調査費のみなのか。今後調査結果によっては、温泉としての利用計画を見込んでの調査委託なのか。

#### 答

昨年十月に対象地区の土壌検査(pH検査・電気伝導度)及び掘削井戸直近の水田の湧出水検査(pH検査)を実施した結果、pHでは土壌・水田の湧出水共に若干アルカリ性が強い、土壌の電気伝導度も周辺よりやや高いという結果が出た。これを受けて水田の湧出水と井戸水の詳細な水質検査を実施する必要性が生じたため、二カ所の水質検査を実施するための費用である。

また、昨年末、一時的に井戸の蓋を開けると自噴の傾向が見られたため、温泉水のガスの影響なのか、状態が変わ

ったのか、再度温泉の汲み上げ試験を合わせて実施する経費も計上している。

かつて一億円の投資を行っている井戸であり、今回十分な調査を実施して、温泉が出ないのであれば、しかるべき方向で決着をつけたいと考えている。

もし、これが本当のお宝であれば非常にありがたいという希望も込めて調査させていただきたい。



三秋地区に掘られた井戸

### 双海地域事務所 宿日直委託料について

#### 問

双海地域事務所宿日直委託業務の中で、シルバー人材セ

ンターから嘱託職員に変更するというところで、五百十八万円減額かと思っていたが、嘱託賃金の方が九百十万円に増額している。差し引き四百万円の増額である。なぜ嘱託職員に変更されたのか伺いたい。

#### 答

合併当初は、宿直は委託、日直は正規職員が行っていた。当初予算は例年どおり組んでいたが、職員組合等からも正規職員の日直廃止について強い要望があった。住民サービスを低下させることなく正規職員から嘱託職員に切りかえることで、従来どおりの戸籍等の受付も地域事務所、下灘のコミュニティセンターで行うような形となった。戸籍等の死亡届等受け付ける場合には、責任が伴うので、本庁と同じような形で嘱託職員とした。職員の日直手当も減額し、差し引き二百九十万円の増額となった。

### 町家の冷蔵ショーケース 購入について

#### 問

必要なものについては認めるが、この種の施設について、指定管理者制度導入との関係等、今後の市の対応を伺いたい。

#### 答

財政が厳しい時期にいつまで行政が負担するのかという問題もあるが、施設の整備をすれば生き残れるという見通しがあれば、積極的に援助したい。

今回は、輝市(ピカいち)

にも冷蔵ショーケースを貸した経緯があり、生き残るために欲しいという要望があった



にぎわう町家

ため、予算計上となった。見通しのないところに出すべきではないと思うが、状況を見極めた中で援助していきたい。

### 平成十八年度伊予市農業集落排水特別会計補正予算(第一号)

#### 問

実施測量設計委託料に関して、測量設計に含まれる対象地域、対象戸数は。

また、効率の悪い所は合併浄化槽の併用も考えているか。

#### 答

唐川地区の計画戸数は百七十二戸で、接続の同意は現在のところ、百三十八戸となっている。地域は、鶴崎を除く七集落の馬場・長崎谷・中台・東野・下寺・本谷・両沢である。

集落排水と合併浄化槽との関係は、確かにポンプアップしなければならぬ効率の悪い所もあるが、合併浄化槽の補助の問題もあるので、経済的な比較をして内容を検討していきたい。